

防犯ネットワーク会議 開催までの経緯

1. 市が行政提案型協働推進事業（※1）「防犯ネットワークづくり」を提案

市内では、地域の皆様によって様々な自主防犯活動が行われています。そこで市は、自主防犯活動を行っている団体間の繋がりを作ることで地域防犯のさらなる充実を図ることを目的として「防犯ネットワークづくり」を提案し、協働する市民活動団体を募集しました。

2. 市民活動団体「香川防犯ボランティア隊」と協働で事業を推進

「香川防犯ボランティア隊」から、情報共有などを行うことで自主的に結成された防犯活動団体の繋がり（ネットワーク）を構築する事業企画が提案され、市と協働する市民活動団体として選ばれました。

3. 防犯ネットワークをどう作るか

どのような方法でネットワークづくりを進めるべきか、市と香川防犯ボランティア隊で何度も打ち合わせを行いました。そこで、団体の皆様のニーズを調べるために市が把握している団体へアンケート調査することしました。

その結果、ほとんどの団体から、他の団体との情報共有の場が必要だとのご意見をいただきました。これを受け、平成19年度に団体の交流の場としての情報交換会を開催したところ、参加団体から継続してほしいとの意見をいただきました。

4. 情報共有の場、「防犯ネットワーク会議」を開催

団体間の情報共有、防犯に関する学習の場として「防犯ネットワーク会議」を年2～3回開催することにしました。会議といっても堅苦しい場でなく、参加された団体が交流できる場です。2～3人の少人数で実施している団体も対象とし、今後参加団体を増やして行きたいと考えています。

※1 行政提案型協働推進事業とは

市では、平成１９年度から、地域課題の効果的な解決と市民ニーズにあった公共サービスの提供を目指し、市民活動団体の新たな発想や手法を生かして事業を行う「行政提案型協働推進事業」をはじめました。市が事業テーマを提案し、市民活動団体が事業企画を行って実施する事業で、市と市民活動団体との協働を進めていくうえでのモデルとなる事業です。